

ごあいさつ

皆様のご声援に改めて感謝申し上げます。景気や雇用をはじめ暮らしの土台が崩れ社会や家族の絆すら失われようとしています。一人一人が勝手に暮らす社会は無縁の社会です。だからこそ、夫婦別姓のような行き過ぎた個人主義にストップをかけ、「家族」、「地域社会」、「日本」という塊に一人一人をくっ付け合わせる事が保守政党「自民党」の役割です。

まずは政治への信頼の復活です。その為には私たちが率先して痛みを分かち合うべきです。私たちは10年以上も報酬削減を続けてきました。そして今回さらに、議員、知事、全職員の給与も大幅削減を議決いたしました。少しでも暮らしを守る財源を作っていこうと考えています。

さて先般、「自民党ぐんま政経セミナー」において33名の公認推薦者を発表いたしました。その後も公募によって新しい人材を県政に送り出すように取り組んでまいります。どうかご声援を賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

自民党群馬県連



県議選投票日4月10日決定!

候補者公募の最新情報はウェブまで

自民党群馬県連

検索



メールマガジン発行中

自民党ぐんまは変わりました! ホコリを払って改革のスピードアップ

- ①「ぐんま政治塾」開塾!
私たちを引き継ぐ若者を育てています。現在53名が学んでいます。
- ② 県議会議員の72才定年を決定!
新人公認は60才以下、空白区は公募。時代に合わせて議員も交替!
- ③ 2区・3区は現職不在のため公募します!
原則60才以下。党员投票で選ばれます。【ぐんま政治塾】開塾式(2010.9.18)では谷垣総裁が記念講演



自民党ぐんまが議会を変えました! 見せる・見張る・見直す。自民党県議団の約束です

- ◎ 全国議会改革ランキング40位→11位へ躍進(日経グローバル)
透明度、公開度など、大改革しました

スピード自慢の自民党ぐんま 群馬の農家・日本の食文化を守ります! 口蹄疫対策も群馬は一番! 「不良米」も真っ先に対策!

〈米作農家支援対策本部を設置〉

「猛暑による米品質低下」と「米余り」に加え、民主党による戸別所得補償制度による価格引下げ圧力が経営を悪化させています。今回米価下落によって補償制度が維持できるのかとの不安も聞かれます。自民党県議団はチームで米作農家の不安解消に向け、緊急に「米作農家支援対策本部(本部長:中沢丈一)」を立ち上げ、支援策を早急に取り組んでいます。口蹄疫の発生後の対応を全国一早く行ったのも群馬です。



群馬県選出国會議員および県議団(コンパネに座る)で現地視察会を実施。当日、邑楽郡選出の館野英一議員(米農家)の手作り米(等級外)を食べる(上川測ライスセンター倉庫にて)

〈みんなのよい食プロジェクト〉

これからの日本人にとって「よい食」とは何かを、農家と、消費者、団体のみんなと一緒に考えて、行動していく運動です。自民党県連もこのプロジェクトに賛同しています。



TPP=農業支援が前提です!
自民党ぐんまは国内農業を切り捨てるだけのTPPには反対です。工業も農業も支えあって伸びていく日本を目指します。

須藤昭男は頑張りました!

山から平野まで。群馬にはいろいろな暮らしがあります。須藤昭男は皆様の暮らしを守ります。

〈7つの道路「ど」ん「ど」ん進みました〉

- 北関東自動車道: H23年3月19日全線開通
- 上武道路: 進捗中 残り8.2km
- 前渋バイパス: 開通済
- 上信自動車道: ハツ場バイパス H22年12月19日開通
吾妻西・祖母島~箱島・川島・金井・渋川西の5バイパスいよいよ着手!
- 東毛広幹道: H26年全線開通
- 西毛広幹道: 富岡・高崎西、着工。安中も詳細設計へ
- 50号前橋~笠懸バイパス 民主党の予算カットで苦戦中!
- 椎坂トンネル: H26年完成 下久保も、昭和橋も進行中!

〈無駄をカットしました〉

- 知事交際費等の公表を実現
- 知事・副知事の今任期の退職金を廃止
- 無駄な建物等を廃止(旧知事公舎は駐車場へ)
- 塩漬けだった土地を高齢者団地へ活用

〈市町村と連携しました〉

- 市町村との地域別懇談会を開催
- 権限移譲数(22年度)49法令626事務

〈命を守りました〉

- 救急医療情報システムを更新
東毛地域に救命救急センターの設置を決定
- ドクターヘリの運行開始(21年2月~)
21年度出動回数323回
- 医師の確保
修学資金貸与(19年度)17名分 →(22年度)30名分
群大医学部定員(19年度)100名 →(22年度)117名
うち地域医療枠(20年度)5名 →(22年度)17名
- 重粒子線治療施設
(21年度)装置完成 22.3~試験開始 22.6~先進治療開始
- ガン条例を制定
県民の死亡原因第1位である「がん」から県民の命を守ります

〈子育てを応援しました〉

- 子ども医療費の無料化 入院・通院: 中学卒業まで
- 認定子ども園数 (19年度)4カ所 →(22年5月)21カ所
- 放課後児童クラブの支援
(19年5月)300カ所 →(22年5月)391カ所

〈お年寄りを支えました〉

- 特別養護老人ホームの整備状況 まだ足りない!
- (19年7月)6936床 →(22年7月)7943床(+1007床)

〈障がい者を応援しました〉

- 障がい者就業・生活支援センター運営
(18年度)2カ所 →(22年度)6カ所

- こころの健康センターの施設整備
多様化する利用者の声を届けました

〈学校の負担を減らしました〉

- (20年度)小学1・2年生をすべて30人学級化
- (21年度)小学3・4年生をすべて35人学級化
わかばプラン(中学1年への非常勤講師配置)70校117人

〈教育現場に社会の力を取り入れました〉

- 社会人特別選考 H22採用: 4名
臨時的任用教員経験者 H22採用: 68名
- 社会人講師の採用、熟練技能士の工業高校等への配置

〈環境を守りました〉

- 尾瀬学校の実施
20年度: 108校・約8千人、21年度: 135校・約1万人
- 住宅用太陽光発電設備設置補助 約2億2千万円
- 前橋市廃棄物対策へ警察官1人を派遣

〈群馬の宣伝も頑張った〉

- (20年度)ぐんまちゃん家を開設(7月~)
H22年5月来場者50万人達成

○そして2011年は
群馬デスティネーションキャンペーンです

